

Part 2

北海道の火山

スライド 7

北海道にはたくさんの火山が存在しています。

南から見ると、渡島地域、有珠・倶多楽地域、支笏・樽前山地域、大雪山地域、クッチャロ・摩周地域、と千島地域に分けられます。これらの活火山の分布は火山フロントと呼ばれていますが、太平洋プレートがオホーツクプレートとアムールプレートなどの大陸プレートの下に潜り込むことによって生成したものです。

北海道の島自体は、西北海道が本州の北半分とともに 1900 万年前から 1500 万年程前の間に大陸から分離してほぼ現在の位置に移動してきました。東北海道はいくつかの小さな島に分かれてもっと東の方にあったのですが、太平洋プレートと北米プレートに押されて西に移動し、1300 万年程前に西北海道と衝突しました。この時点から日高山脈の隆起が始まりました。

現在の学説ではオホーツクプレートとアムールプレートの境界はもっと西側の日本海の東の縁にあるとされていますが、1300 万年前にはこの図の位置でプレートの押し合いが起こっていたことは確かです。

スライド 8

この図は過去 5 万年の北海道の巨大噴火を示したものです。

根釧地域ではクッチャロ・摩周地域の火山の影響が大きいです。

十勝地域と日高山脈には火山は存在していませんが、とくに日高山脈より西側の支笏・樽前および洞爺・有珠・クッタラ火山からの火山灰の影響を強く受けています。